

図書館情報学特論Ⅲ (2011 年度後期) 授業スケジュール

(12/5 は履修者が出席できず休講)

回・日付	テーマ	扱う文献等 (掲載頁は省略)
		太字はテキスト『図書館・博物館・文書館の連携』(勉誠出版) に収録
#1(10/3)	授業の概要 (講師の問題関心)、進め方など	
#2(10/17)	「MLA 連携の枠組み」をめぐって	古賀崇. 「MLA 連携」の枠組みを探る: 海外の文献を手がかりとして. 明治大学図書館情報学研究会紀要. 2011, no. 2.
#3(10/24)	「MLA 連携の枠組み」をめぐって (続)	田窪直規. “博物館・図書館・文書館の連携、いわゆる <b>MLA 連携</b> について”
#4(10/31)	「保存マネジメント」の考え方	安江明夫. “文化資源機関の保存マネジメント”
#5(11/5)	政策面の検討: 日本の場合	山崎久道. “わが国の政策展開からみた <b>MLA 連携</b> の可能性” 松岡資明. 国会図書館 脱皮の時. 日本経済新聞. 2006-9-23 (朝刊)
#6(11/12)	政策面の検討: 米国・欧州の場合	菅野育子. 欧米における図書館、文書館、博物館の連携: Cultural Heritage Sector としての図書館. カレントアウェアネス. 2007, (294) 菅野育子. “米国・欧州の政策と実践から見た <b>MLA 連携</b> ”
#7(11/28)		
#8(12/12)	博物館/博物館情報学からの観点	水嶋英治. “博物館・図書館・アーカイブズ概念変化とデジタル文化財”
#9(12/19)	博物館/博物館情報学からの観点 (その2)	高橋晴子「<服装・身装データベース>における <b>MLA 連携</b> への視野」 国立民族学博物館「服装・身装データベース」
#10(12/26)	地域資料とデジタルアーカイブ	西口光夫「地域情報は住民のなかにある: 北摂アーカイブズの成り立ちと展望」(NPO 知的資源イニシアティブ編『デジタル文化資源の活用: 地域の記憶とアーカイブ』勉誠出版, 2011 所収) 「北摂アーカイブズ」
#11(1/12)	MLA 連携の枠組み: 再考	(これまでの復習)
#12(1/19)	まとめ	